

白神山地・米軍戦闘機低空飛行問題 野鳥誌掲載記事

<白神山地世界遺産地域における戦闘機の低空飛行訓練の中止を要請>

(No.621 1999年6月号 p.37)

●<活動>

白神山地世界遺産地域における戦闘機の低空飛行訓練の中止を要請

(No.621 1999年6月号 p.37)

3月18日、本会の岩垂寿喜男理事（元環境庁長官）、品田穰常務理事他は、戦闘機の飛行訓練が白神山地地域におけるイヌワシの繁殖に影響があると考えられることから、外務省と環境庁に対し次のような申し入れを行いました。

白神山地世界遺産地域上空においてジェット戦闘機の低空飛行訓練を行わないことを、防衛庁および米軍関係機関に対して申し入れを行うこと。

白神山地世界遺産地域およびその周辺における航空機の飛行、スノーモービルの走行、工事の実施、伐採の騒音等に関する環境実態調査を実施すること。

また、同日、文化庁と防衛庁へも同様の要請を郵送しました。白神山地は、世界遺産条約に登録された自然遺産で豊かなブナ林をはじめ、イヌワシ、クマタカなどが確認されています。今回の要請は、イヌワシの飛来が頻繁に確認される地域で、戦闘機の尾根すれすれの訓練飛行が確認された後、イヌワシの飛来が観察されなくなったために行いました。

要請に対応した外務省北米局日米地位協定室長は、「真剣に対応したい」とし、環境庁も調査を行うよう指示していると説明がありました。（保護・調査センター）